

## かんたん設置ガイド

プリンターの設置を安全に行なうための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。P.6  
設置を始める前によくお読みください。

**最初にお読みください。**  
ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

**Check!**  
開梱時の梱包材は保管する  
購入時のパッケージ(箱)やパッケージ内の梱包材は、移転や移設、修理などのプリンター輸送時に必要になります。

### Step 1 設置準備

同梱品がそろっているか確認する

不足しているものや破損しているものがあつたときは、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- プリンター**  
次のものが取り付けられています。  
● 給紙カセット  
(用紙サイズ表示板を含む)  
● トナーカートリッジ  
・装着されているトナーカートリッジは、そのままご使用になれます。  
● 回収トナー容器
- CD-ROM「User Software」**  
次のものが収められています。  
● プリンタードライバー  
● NetSpot Device Installer  
● FontGallery  
● プリンタードライバー インストールガイド
- 取扱説明書CD-ROM**  
次のものが収められています。  
● e-マニュアル  
● コントロールROM (CR-HIY) 用マニュアル  
● 設置する際は、e-マニュアルもあわせてお読みください

- LANケーブルやUSBケーブルは付属していません。USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。
- 電源コード**
- アース線**
- 用紙サイズシール**
- 保証登録のお願い**
- ポケットガイド**
- かんたん設置ガイド(本書)**

### 設置場所を決める

#### 設置条件

- 十分なスペースが確保できる場所
- 風通しがよい場所
- 平坦で水平な場所
- 本プリンターの質量に耐えられる十分な強度のある場所

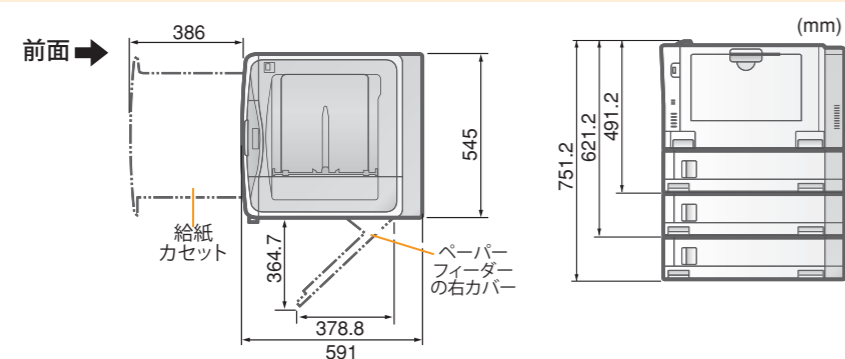
#### 温度/湿度条件

- 温度範囲: 10~30 °C
- 湿度範囲: 20~80 %RH (相対湿度・結露しないこと)

#### 電源条件

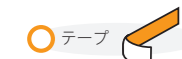
- AC100 V ± 10 %、15 A以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

以下の各部の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。



ペーパーフィーダー(3台)装着状態

#### テープはすべて取り外す



以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください  
※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加や削除されることがあります。

### Step 2 梱包材を取り外して、設置場所に運ぶ

**Check!**  
梱包材はすべて取り外しましたか?  
○ テープ ○ 部材 ×1 ※ 左記の梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

※ 確認が終わったら、カバーと手差しトレイをすべて閉めてください。

同梱のポケットガイドの裏表紙に、シリアルナンバーと購入日をご記入ください。お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせの際に必要です。

ここにシリアルナンバーと購入日をご記入ください。(ポケットガイドの裏表紙)

シリアルナンバーは、上の図で示す位置に表示されています。

#### ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前にペーパーフィーダーを設置してください。  
**ペーパーフィーダーを取り付ける P.4**

次のオプションの取り付け方法については、e-マニュアルをご覧ください。(LBP9650Ciのみ)  
・ROM  
・SDカード

#### ペーパーフィーダーを取り付けないで使用する時

プリンターを設置場所に運んでください。

\*プリンターは、約 41.2 kgあります。3人以上で持ち上げてください。

左側面図  
左右の取っ手に手を掛けて運ぶ

### Step 3 給紙カセットに用紙をセットする

A4サイズの用紙をご用意ください  
Step5で、動作の確認のためステータスプリントを印刷します。ステータスプリントはA4サイズ用に設定されていますので、ここでは、A4サイズの用紙をセットしてください。

- 手前のロック解除レバーをつまむ
- この部分をセットする用紙サイズに合わせる
- 図の位置のロック解除レバーをつまむ
- この部分をセットする用紙サイズに合わせる
- 用紙を用紙ガイドに合わせてセットする
- 用紙をツメの下に入れる
- 用紙ガイドを正しい位置にセットする  
側面の用紙ガイドおよび後端の用紙ガイドを用紙に突き当ててください。
- 用紙サイズ表示板を取り出す
- 用紙サイズシールを貼る
- セットする
- 給紙カセットをセットする

**Check!**  
積載制限マークを超えないようにセットしてください。

ここまで

P.3に続く

### Step 4 電源コードとアース線を接続する

- アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止める
- 電源コードをしっかり差し込む
- 接続
- 差し込む

**Check!**  
アース線端子は図のような向きで本体に取り付けてください。

### Step 5 プリンターの動作を確認する

- 開ける
- 押す
- オンラインになっていることを確認する  
オンライン状態になっていない場合、[オンライン]キーを押します。
- [ユーティリティ]キーを押す
- [▲]、[▼]で「共通ステータスプリント」を選択してOKを押す
- [▼]で「はい」を選択してOKを押すとステータスプリントが印刷されます。

しばらくするとディスプレイに「印刷できます。」と表示され、印刷可能な状態になります。

【ユーティリティ】/[◀]キー 【ジョブ】/[▶]キー  
[オンライン]キー [OK]キー [リセット]/[▼]キー

### Step 6 プリンターとコンピューターを接続する

プリンターとコンピューターを接続する

**USB接続の場合**

- OFF
- 開ける
- 押す
- Bタイプ(四角い)側を接続
- Aタイプ(平たい)側を接続

操作パネルの主電源ランプが消灯していることを確認する  
ここではまだプリンターの電源は入れないでください。電源は、プリンタードライバーのインストール中に入れます。

**LAN接続の場合**

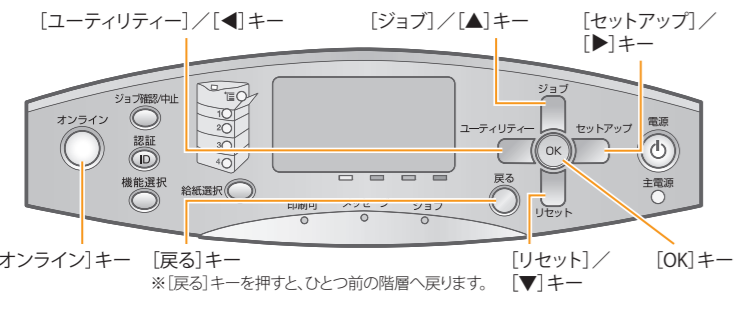
- LANケーブルを接続する
- LNKランプが点灯していることを確認する

続いて、プリンタードライバーのインストールを行います。Step 7 P.4へ

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。P.4へ



続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。



IPアドレスの手動設定や、その他のプロトコルの設定 (DNSやWINSなど) の設定手順は、本プリンターに付属の取扱説明書CD-ROMに収められているe-マニュアル (HTMLマニュアル) に記載してあります。

ここではIPアドレスを自動 (DHCP) で設定する手順で説明しています。

- 1 [セットアップ] キーを押して、[▲]、[▼] で「ネットワーク」を選択し、[OK] を押す
2 [▲]、[▼] で「TCP/IP設定」を選択し、[OK] を押す
3 [▲]、[▼] で「IPv4設定」を選択し、[OK] を押す
4 [▲]、[▼] で「IPモード」を選択し、[OK] を押す
5 [▲]、[▼] で「自動」を選択し、[OK] を押す
6 [▲]、[▼] で「プロトコル」を選択し、[OK] を押す
7 [▲]、[▼] で「DHCPによるアドレス設定」を選択し、[OK] を押す
8 [▲]、[▼] で「オン」を選択し、[OK] を押す
9 プリンターの電源を入れなおす

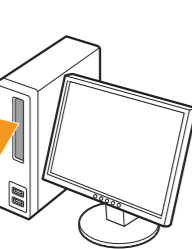
Step 7 プリンタードライバーをインストールする

LIPS LXとLIPS4プリンタードライバーの違い

LIPS LX: 印刷データの処理をコンピューターとプリンターで負分散することによって、従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作が可能です。
LIPS4 (LBP9650Ciのみ): ドライバー上でのフォームオーバーレイ機能、TrueTypeフォントの置き換え機能など、従来のドライバーに実装されていた機能を使用することが可能です。

USB接続でインストールするときは

- 1 コンピューターの電源を入れる
2 付属のUser Software CD-ROMをセットする
3 [インストール] をクリックする



操作方法で不明な点があるとき
プリンタードライバーのインストール方法の詳細は、本プリンターに付属のUser Software CD-ROMに収められているプリンタードライバーインストールガイドに記載してあります。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

ペーパーフィーダーをあとかから設置するとき (プリンターをすでに使用しているとき)

- 1 コンピューターの電源を切る
2 プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外す
3 プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき
4 プリンタードライバーをインストールする

テープはすべて取り外す
以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください

- 1 ペーパーフィーダーを箱から取り出す
2 止まるまで引き出す
3 取り外す
4 取り外す

- 5 ここをつまんで取り外す
6 給紙カセットをセットする
Check! 梱包材はすべて取り外しましたか
7 設置場所に運ぶ
8 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる

- 9 プリンターを運ぶ
10 位置決めピンとコネクタを合わせて載せる
11 ロックレバーを図の位置に合わせる

- 12 給紙カセットを引き出す
13 ロックレバーを図の位置に合わせる
14 給紙カセットをセットする

続いて、次の手順にそって作業を進めます

- 1 用紙をセットする
2 電源コードとアース線を接続する
3 プリンターの動作を確認する
4 プリンタードライバーをインストールする

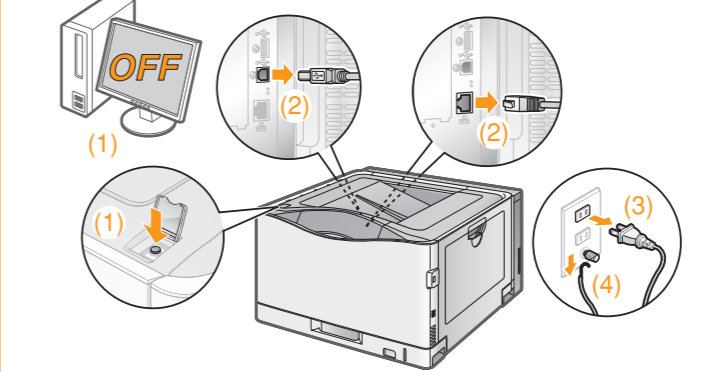
- 1 用紙をセットする
2 ケーブルやコードを接続する

安全にお使いいただくために

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず本プリンターに付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている e-マニュアル (HTML マニュアル) で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。

設置について

- 警告: アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。



オプション品の取付け/取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスクーブルや電源コード、アース線を取り外してください。

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。
製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。
製品を次のような場所に設置しないでください。
・湿度やホコリの多い場所
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
・雨や雪が降りかかるような場所
・水道の蛇口付近などの水気のある場所
・直射日光のあたる場所
・高温になる場所
・火気に近い場所

マークについて

- 警告: 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注意: 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

電源について

- 警告: 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っばったり、無理に曲げたりしないでください。
電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
電源コードが引っ張られた状態にしないでください。電源プラグが緩んで接続が不完全になると発熱し、火災の原因になります。
電源コードを踏みつけたり、ステイプルなどで固定したり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
電源コネクタが接続される製品の差込口にストレスが強いかかると、製品の内部で断線や接触不良が発生し、故障の原因になります。また、火災の原因になる場合もあります。

- オプション品の取付け/取外しを行うときは、必ずプリンターの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンターに接続されているすべてのインターフェイスクーブルや電源コード、アース線を取り外してください。
[アース線を接続してもよいもの]
・電源コンセントのアース線端子
・接地工事 (D種) が行われているアース線端子
[アース線を接続してはいけないもの]
・水道管... 配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
・ガス管... ガス爆発や火災の原因になります。
・電話線のアースや避雷針... 落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。
アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

商標について
Canon, Canonロゴ, LBPは、キヤノン株式会社の商標です。
その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。